

議会情報便

# カワサキ



No.225



発行日  
令和4年1月31日  
発行  
川崎町議会

編集 議会広報・広報委員会



「晴れの舞台で」

17P

明日へのひとしきり  
基本は教育

9P

町政を問う  
学力テストの結果は

6P

11月会議  
第6波に備えて

2P

緊急要望書  
稲作農家に支援



議会  
から

緊急

# 要望書

# 米価下落



## 議長「農家を守って」

### 要望内容

- 1 令和3年産米価下落による収入減に対する営農支援及び令和4年度以降も稲作農家が持続的かつ安定的な経営ができるよう、作付面積当たり一定額の支援をしてください。
- 2 稲作農家の経営維持及び安定を図るため、宮城県や金融機関と連携し、影響のあった農家に対し、農林業災害対策資金等に係る利子補給を行い支援してください。

9月上旬に令和3年産米の概算金が発表されました。  
新型コロナウイルスの影響で、業務用米の需要が落ち込み大幅な下落となりました。議会では早急な支援が必要と判断し緊急要望書を町へ提出しました。

### 令和3年産米概算金発表される

JA全農宮城より、ひとめぼれ(60<sup>kg</sup>、1等米) 9500円と発表  
JAみやぎ仙南では9000円  
前年度比3600円の減(28.5%)と急落

### 全員協議会で協議

- 米価下落農家への町独自支援が必要では
- 支援の範囲はどう考えるのか などの意見  
生産農家、農業団体からの意見を踏まえ、  
支援が早急に必要と判断

### 町執行部に要望書を提出

離農につながり、来期の作付けにも影響するおそれあり  
早急な対策を求める

12月議会 補助決まる!

40000円/10アール

ち込む  
基幹産業に支援を!



# 12月会議

会議は、7日から9日に開きました。  
提案された議案は、条例改正案5件、補正  
予算案2件、人事案件1件を慎重に審議し、  
原案とおり可決されました。  
ここでは、その一部を紹介します。



## 一般会計補正

現金で10万円

子育て世帯臨時特別給付金 9600万円

法人へ集積

古閑地区経営 他 1086万円

転換協力金

2年ぶり再開

婚活支援事業 50万円

## 公共下水道事業会計補正

大針中継ポンプ場 電気設備更新(第2期) 3263万円

1クラス増設

富岡小学校特別支援 学級改造工事など 839万円

### 消防団の年額出場報酬アップ

#### 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

##### ■提案理由

班長以上の幹部の年額報酬を、業務の負荷や職責等を勘案し、他町との均衡を図るために改正するものです。

団員の年額報酬は基準額より高いため、現状を維持。

出場報酬は1日8000円とし、4時間未満は4000円とする。

警戒活動、訓練、会議も新たに支給する。

| 区 分                           | 報酬の額      |
|-------------------------------|-----------|
| 団長                            | 32,200円 増 |
| 副団長                           | 8,300円 増  |
| 分団長・副分団長                      | 13,100円 増 |
| 部長・班長                         | 9,100円 増  |
| 水害防除、消火活動等に從事した時間が4時間以上の場合    | 1日 8,000円 |
| // 4時間未満の場合                   | 1日 4,000円 |
| 新規 警戒活動<br>訓練参加<br>会議・研修等への参加 | 1回 2,100円 |

### 未就学児国保均等割半額

#### 川崎町国民健康保険税条例

##### ■提案理由

子育て世帯の経済的負担軽減のため、一律5割軽減(7割、5割、2割軽減されている場合は適用後)するものです。

### 総額42万円は変わらず

#### 川崎町国民健康保険条例

##### ■提案理由

産科医療補償掛金が引き下げのため、差額4000円を出産育児一時金に加算し、支給総額を維持するものです。



▲有事に備えて

### 多様な行政需要に対応 職員定数条例

#### 職員定数条例

##### ■提案理由

各機関の職員定数を改めるものです。

| 機関名    | 改正前 | 改正後 | 現数  |
|--------|-----|-----|-----|
| 町長事務部局 | 88  | 93  | 87  |
| 教育委員会局 | 43  | 40  | 33  |
| 農事委員会局 | 3   | 3   | 3   |
| 議会事務局  | 3   | 3   | 3   |
| 病院企業関係 | 49  | 47  | 44  |
| 水道企業関係 | 4   | 4   | 4   |
| 合 計    | 190 | 190 | 174 |

## 人事案件

### 教育委員(新任)



大宮 國男 さん  
(前川東部)

任期 令和3年12月13日から  
令和7年12月12日まで

# オミクロン感染



## 11月会議

### 第6波に備えて

会議は26日に開きました。  
提案された議案は、補正予算案1件  
を慎重に審議し、原案どおり可決  
しました。

#### 一般会計補正予算

##### ■提案理由

新型コロナウイルス  
感染症予防のため、3  
回目となるワクチン接  
種事業費用を計上する  
ものです。

##### ■内容

令和3年6月まで2  
回接種済者で、医療従  
事者、65歳以上高齢者。  
対象者は3500人で  
す。



ワクチン接種費用 **1116万円**

## 1月会議

会議は7日に開きました。  
提案された議案は、公共施設整備計画1件、  
契約案1件、補正予算案1件、議決案1件を慎重に  
審議し、原案どおり可決しました。  
ここでは、その一部を紹介します。



#### 議決案

##### 米農家を守れ

米価下落に伴う稲作  
経営者の支援を求め、  
国へ意見書を提出しま  
した。

##### ■提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 農林水産大臣 他

#### 意見書

- 1 あらゆる政策を駆使して、積極的な消費喚起策を講じること。
- 2 次期作に向けた支援対策を講ずること。
- 3 地域の実情に合った農業支援対策を講ずること。

令和4年1月7日  
宮城県川崎町議会

#### セントメリースキー場整備

#### 利用者の安全を優先

##### ■内容

施設老朽化に伴う整備を5カ年で計画的に行うものです。

##### ■事業費

総額2億3120万円  
円で辺地対策事業債※  
を予定。



※辺地対策事業債…辺地とその他の地域の格差是正を図るため、公共的施設等の整備事業に利用できる地方債。

# 町政を問う

## 5人の議員が質問

一般質問は町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



- ◆ 佐藤 昭光 議員 ..... 8
  - (1) 水田集積等の状況
  - (2) バスの減便
- ◆ 佐藤 清隆 議員 ..... 9
  - (1) 学力テストの結果を受けて
- ◆ 的場 要 議員 ..... 10
  - (1) LINE 公式アカウント取得を
- ◆ 高橋 義則 議員 ..... 11
  - (1) デジタル化にむけて
  - (2) 福祉灯油支給制度の導入
- ◆ 遠藤 雅信 議員 ..... 12
  - (1) 農業用水路の適切な維持管理

※アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。



佐藤 昭光 議員

問

10アール4000円では

答

支援金以外にも対策を講じる

最近「米作りをやめる」「作付け依頼に応じきれない」など、水田農家の声を聞き衝撃を受けました。概算金下落した本年は、そうした声が多くなるのではと心配しています。

問 耕作放棄の水田は全体の何%ですか。

答 町長

令和3年3月現在の農業委員会調査では49・5鈔で全体1150鈔の4・3%です。

問 作付け依頼を受けた大規模農家の実情は。

答 町長

10鈔を超える大規模農家は7軒で120鈔。水田面積全体の19・7%です。

答

減便のうえになぜ負担金撤退の可能性もあった

問 仙南2市6町は10アール当たり4000円（七ヶ宿は8000円）の支援と報道されました。「耕作意欲の動機づけにはならない」という声もありますが。

答 町長

各首長と意見交換を重ね決定しました。支援金以外は各市町で独自策を講じています。

問 宮城米の声を高めるのが最善。期待されている「だて正夢」の作付け状況は。

答 農林課長

宮城米のブランド化戦略として、現在17人が約20鈔を栽培しています。

問 令和3年3月から、大河原町―川崎町間の路線バスが減便になったうえ、町は負担金を払っています。納得したのですか。

答 町長

少子化やコロナ禍で乗車人数が大幅に減少したことに伴う減便であり、現実には即した判断だと思っています。負担金があれば路線バス廃止の可能性もありました。

問 負担金の根拠は。

答 町長

沿線の大河原・村田・当町とバス会社の4者で協議し、走行距離に応じて負担額を決めました。

問 地元にもバス会社があります。利用を考へなかったのですか。

答 町長

参入・撤退は事業者が判断することと認識しています。新規事業者の参入には、さまざまな手続きを要するため、相談等はしていません。



▲利用者が増えないと

問 通勤通学の人たちが増えるような努力を求める考えは。

答 町長

そういったことも含めて、今後の交渉に臨みたいと思います。

問

学力テストの結果は

答

差異は範囲内

今年も「全国学力・学習状況調査」の結果が報告され、県内の小中学校では、一部の科目を除き全国平均を下回りました。仙台市を除く県平均ではさらに大きく下回り、地域による学力格差に大きな衝撃を受けました。

問 公表結果をどう受け止めていますか。

答 教育長

小学校の国語では、全国と県の平均正答率の差が、マイナス1・7ポイントです。文部科学省が差異がないとする前後5ポイント内に収まり、日本の義務教育制度は一定の水準が保たれていると受け止めています。



▲授業も工夫しながら

問 県平均として公表されていますが、町内小中学校の結果は。

答 教育長

小中学校ともに全国平均正答率を下回り、その差は3ポイントから6ポイントほどとなっています。

問 小中学校の全体的な傾向をどのように分析していますか。

答 教育長

2つの大きな傾向があり、全問正解やそれに近い児童生徒の割合が、全国や県と比べて少ない。また、少人数の学校では一人の結果が平均を大きく左右することもあり、平均値を用いて結論を導くのが難しい状況です。

問 結果を踏まえ、具体的にどのような教育施策や指導を行っていますか。

答 教育長

川崎小学校の一部教科では、1クラスを20人にわけて指導するなど、きめ細やかな授業を実施しています。また、県教育委員会が実施する授業研修に、全小中学校で参加しています。

問 子育て支援に手厚い当町だからこそ、教育水準も高いといわれるような取り組みを進めるべきと考えますが。

答 町長

短期間の実施で簡単に成果が上がるものはありません。今ある児童生徒の力を着実に伸ばしていく教育活動や環境整備を進めていきます。



▲児童に寄り添い



佐藤 清隆 議員



的場 要 議員

## LINE公式アカウントを

## 無料プランでの運用を開始

全国34都道府県で既に導入、運用されているLINE公式アカウントですが、県内自治体でも仙台市をはじめ16の自治体で運用されています。そのうち仙南地域では、白石市・名取市・岩沼市・柴田町が導入済みです。

**問** 導入により情報発信、キャッシュレス決済、行政手続、防災減災などで運用できます。まずは無料プランでの運用から始めることで、住民サービスやQOLの向上につながると思いますか。

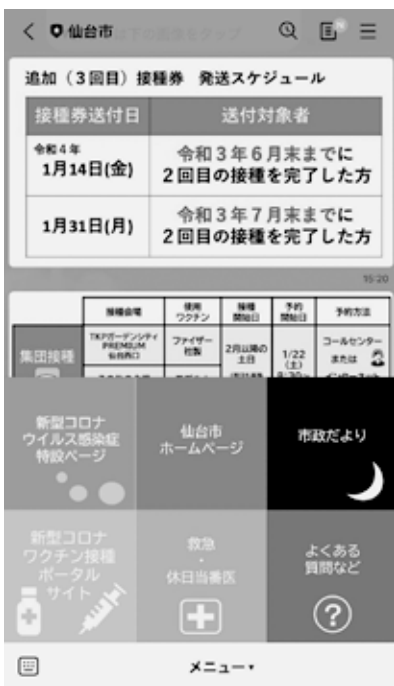
**答** 町長 県内市町のLINEによる情報発信を実際に体験してみました。紙での情報にあまり目を通さない人や災害のような緊急の場合に、大変有効な情報発信だと感じました。まずは無料プランでの運用を開始していきます。

**問** 今後必要だと感じているキャッシュレス決済、電子マネーについて、どのような検討がされてきたのか。そして、今後どういう方針で考えているのかを伺います。

**答** 税務課長 町税の納入に関し、これまで調査・検討してきました。国では令和5年度からスマホ決済の導入を進めていきます。財政的なことを考慮し、国のスケジュールに合わせて導入を進めていく方針です。

問

答



▲仙台市の公式アカウント

**問** 役場や町内の各種店舗でのキャッシュレス決済導入を推進していくことが必要だと考えます。導入をサポートすること、売上向上にもつながるのではないのでしょうか。

**答** 地域振興課長 来年度以降もキャッシュレス決済は間違いなく増えていくと思います。商工会、観光協会と連携し、一体となって事業者の方々にキャッシュレス導入を推進していきたいと考えています。



▲町税もスマホ決済に向けて

※ LINE公式アカウント…自治体や企業が様々な情報を利用者に提供できるサービス。  
※ QOL…生活の質、生命の質。

問

情報の漏えいが心配

答

広報紙で注意喚起

デジタル関連法が公布されたことにより、政府主導の対応には多くの懸念があります。デジタル化に対応できない町民の情報格差が拡大するおそれがあるといわれています。

**問** デジタル化により各課の業務が大幅に増加すると思いますが、現職員で対応は可能ですか。

**答** 町長 最初は業務量が増えますが、対応していかなければならないと考えています。デジタル化は町民の利便性だけではなく、行政側も効率化を図るために推進していきます。



▲保険証にも使えるマイナンバーカード

**問** 窓口はオンラインが主流になると思いますが、今後の対応は。

**答** 町長 徐々にオンラインが主流になると思います。対面での申請を望む人がいるうちは窓口での対応が一番ですから、遠慮なく役場に来てもらえるような環境や関係性を大事にしていきたいです。

**問** マイナンバーの運用で情報の漏えいなどを懸念する町民がいますが、どのように対応してきましたか。

**答** 町長 町民の不安を取り除くため、広報紙で紛失したり番号を教えたりしないように注意喚起を行ってきました。これからも皆さんに分かりやすくお知らせしていきます。

## 福祉灯油支援の実施を

## 動向を見定め対応

**問** これから本格的な寒さを迎える時期ですが、低所得者、ひとり親、高齢者、障がい者などの世帯に福祉灯油支援制度の実施を考えるべきと思いますが。

**答** 町長 コロナ禍で経済が低迷しているなか、原油の値上がりは大変な問題です。県や近隣市町村の動きを見定めて対応していきます。



▲冬の必需品

原油価格の高騰が町民の生活に大きな影響を与えています。今年の価格は前年より1割当たり20〜30円の値上がりとなりました。コロナ禍で生活が大変な状況のなか、大きな負担になっています。



遠藤 雅信 議員

問

育成と維持管理の両立は

答

各組合と相談しながら

町内の多くの水利組合では、高齢化や後継者不足等により組合員数が減少し、適切な維持管理も難しい状況にあります。このままでは、基幹産業である農業の継続的な発展は難しくなると考えます。

**問** 各組合から維持管理に関する相談はなかったのですか。

**答** 町長

組合員の高齢化等に伴い、一部の地域、組合等から施設の維持管理にとっても苦勞しているという相談を受けています。

**問** このような現状をどのように認識し、対応してきましたか。

**答** 町長

地域等との意見交換のなかで、作業内容に応じた支援を行ってきました。コンクリートや碎石等の原材料支給、土砂上げの際には重機を借り上げるなどの対応をしているほか、計画的な改修工事なども進めています。

**問** 担い手の育成も大切ですが、どうすれば適切な維持管理が継続的に行えるのか、各組合との話し合いを行いながら対策を講じるべきと考えますが。

**答** 町長

現在、水門の管理や水量調整等を上流と下流の人たちが連携し、安定した水利の確保と効率的な管理体制が整うように調整を図っています。各組合との意見交換がとても重要であると考えます。



▲災害時は重機対応も



▲地域の協力で水路維持

**問** 地権者による管理を、地域で管理する仕組みに変えていかなければ、町の農業は守れないと考えます。補助事業の活用も含めて水利組合等に情報を提供し、町が支援していくような、環境づくりが必要と考えますが。

**答** 町長

現在、町内11組織で国の制度を使い、地域ぐるみによる継続的な維持管理が行われています。引き続き、地域の人たちの意見を聞きながら制度の活用を増やしていきたいと考えています。

## 追跡質問

問

サン・ファン号の活用は

答

ジュニア・リーダーの研修実施

**問** 昨年の12月会議で、解体される「サン・ファン・ハウティスタ号」の学習と活用などについて質問しました。検討結果は。

**答** 教育長

見学する機会をつくることに関して、3月に中学生・高校生で構成されるジュニア・リーダー26人が石巻市にある「サン・ファン館」を見学しました。展示品については譲渡が可能か、県と相談しています。



▲郷土の偉人を再認識

**問** 今後は4分の1サイズのFRP製として再建されるようですが、今後も郷土の偉人をたたえ、学校教育や文化活動に活用すべきと考えますが。

**答** 教育長

常にボランティア活動を行っているジュニア・リーダーの学習機会として、数年おきに研修会を実施していきたいと思っています。

※FRP製：繊維強化プラスチック製。

以前の質問確認したい!!



宮城県後期高齢者医療広域連合議会  
佐藤新一郎議員が  
副議長に就任

令和3年度第一回宮城県後期高齢者医療広域連合議会臨時会が開催され、町議会より選出されている佐藤新一郎議員が、副議長に就任しました。



本人コメント

身に余る光栄と同時に、高齢者医療を取り巻く環境が大きく変化するなか、重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。これから高齢者福祉向上のため、全力で取り組みまいります。

※宮城県後期高齢者医療広域連合議会とは…県内全市町村で構成され、将来にわたって安心して医療を受けることができるよう、老人医療を高齢者の方々も含めた社会全体で支えあうために、平成20年度より開始されました。

## 総務民生常任委員会

調査日 11月18日

## 調査事項① 空き家バンクの現状

## 登録件数が課題

## 【調査結果概要】

平成25年度から開始された空き家バンク事業は、令和3年10月末現在で登録件数が延べ111件、75件の契約が成立し132人が事業を利用して移住して

元化する物件ポータルサイトの開設、東京都で開催された移住フェアへの参加、お試し移住定住施設の開設など、多くの対策を講じてきました。マスコミ対応等も積極的に行っています。

いる状況です。登録促進のため、町外在住の家屋所有者に対する納税通知書へのチラシの同封や、空き家活用移住定住促進補助金などの充実を図ってきました。昨年から



▲情報の拠点として

## 【委員会意見】

10月末現在の空き家バンク登録件数は、13件となっています。平成28年度に実施した町の調査では、空き家と思われる家屋が270件前後確認されており、

隊や観光協会と連携を図り、移住者が定住しやすい環境であることを積極的にPRし、契約件数の増加を図ってください。

なお、マスコミ対応も積極的に行ってください。

## 介護事業の現状

## 医療・介護両面から支援

## 調査事項②

## 【調査結果概要】

令和2年度末現在の認定者数は582人で75歳以上が86%を占めています。要支援・要

介護認定率は18・0%で、ここ数年は横ばい

で推移し県平均と同水準となっています。また、介護認定者の74%が認知症を発症しています。

当町の地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメントや

権利擁護をはじめ総合相談支援、包括的・継続的に適切なサービスを提供しています。住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう支援しています。



▲みんな元気にまんてん体操

## 【委員会意見】

引き続き、地域包括支援センターを中心とした体制の強化を図ってください。また、地域福祉の推進には社会福祉協議会の存在は非常に大きくなっています。情報交換や意見交換を通して地域福祉の推進に努めてください。

高齢化が進み、医療と介護両面からの支援が必須です。国保川崎病院の地域医療連携室と連携しながら、町民の安心した暮らしを支える基盤づくりを進めてください。

## 産業建設教育常任委員会

調査日 11月17日

## 調査事項① 有害鳥獣対策の現状

## 豚熱感染対策も

## 【調査結果概要】

町内でもイノシシやサルなど野生動物の生息域が拡大しています。鳥獣被害対策実施隊の協力もあり、捕獲頭数は平成28年度と比較し

て約3倍の737頭が捕獲され、農作物への爆発的な被害拡大が抑えられている状況です。被害軽減対策としては、被害防止施設導入事業補助金をはじめ、実施隊への活動交付金

や狩猟免許の取得・更新に対する支援などを実施しています。また、隊員数は町の支援策もあり、平成30年4月から12人増え、47人体制により町内全域で活動を進めている状況です。



▲実施隊の協力で

## 【委員会意見】

最近サル、クマ、シカ、カワウなどの被害が見られます。これまでの対策の検証を踏まえ、実施隊の協力のもと効果的な対策を講じてください。

有害鳥獣解体処理場が設置されて5年経過しました。利用者の協力により清潔・適正に

管理されています。今後利用者との意見交換をしながら、維持管理に努めてください。また、町内でもイノシシへ豚熱の感染が確認されており、県豚熱経口ワクチン対策協議会と連携し、養豚場への侵入リスクの低減を図ってください。

## 調査事項②

## 山城跡の現状

## 来訪者に配慮した管理を

## 【調査結果概要】

町内には5箇所の城跡（上榑城跡、小野城跡、本砂金城跡、前川本城跡、川崎城跡）と6箇所の館跡（自然地形を利用し、堀や土塁などを設けた砦跡）が

あり、各所に説明板や標柱を設置し、保護と啓蒙に努めています。城跡のうち上榑城跡、前川本城跡、小野城跡は、昔の形を保存していくために、地域・文化財保護委員会・町が連携しながら刈り払い

などの整備に取り組んでいます。

最近では前川本城跡で新たな遺構が発見されたことから、さらに歴史的価値が高まっています。



▲よみがえった小野城跡

地域の協力により適正に管理整備されています。各城跡には解説図を入れたポストを設置するなど見学者への配慮もされ、来訪者数も多く見られます。現状で標柱などの設置はされていますが、来訪者の駐車スペースの確保や自然環境に配慮し

た入口看板の設置なども検討してください。しかし、城跡のうち本砂金城跡だけが手つかずの状態ですので、所有者や地域と意見交換をしながら、方向性を考えてください。

## 町民に読まれ 議会活動が伝わる

11月12日に、議会広報研究会が県自治会館で開催され、6名の議会広報・広報委員が参加しました。

ここでは報告書の一部を紹介します。

### 見出しにこだわり

沼田長一 委員

町民が読みたくなるような工夫が重要と感じました。

「見出し」「小見出し」「写真」「写真のキャプション」がいかに重要かを改めて感じました。

町民が興味を持ち、本文記事に誘導するような「見出しの文字数15文字以下」が最も必要だと再認識しました。

今後、さらに読みなくなる「議会情報便」編集のため、「見出し」にこだわっていいと思います。



▲講師の話に耳を傾けた

### 町民参加への橋渡し

佐藤清隆 委員

広報紙は、住民が一人でも多く興味を持って読んでもらうことが、何より大切です。それが、議会活動や議員活動を知る機会へとつながり、町民参加への橋渡し役をします。

議会活動は、町民に伝わらなければ、意味がありません。伝えたいことを、わかりやすく読みやすい紙面を目指し、編集スキルを向上させたいと思います。

### 町民を登場させる

高橋義則 委員

広報紙を読んでもらうには、町民に「知ってもらう」「理解してもらう」「参加してもらう」ことが大切です。

意見交換会や身近な町民に取材するなど、多くの町民が参加する機会をつくることが大切だと感じました。より多くの町民が興味を持ち、読む機会が増えるよう心掛けていきたいと思っています。



▲今後の広報紙に期待を

## これからの日本の政局

1月14日に、県町村議会議員講座が開催され、6名の議員が参加しました。  
ここでは報告書の一部を紹介します。

### 自己研鑽を積み

大沼大名 議員

現在政府は、オミクロン対応に集中し、ウイズコロナによる経済再生を図ることが、大きな目標になっています。

コロナウイルスの蔓延は社会の分断を生み、どう地方議会は向き合っていくのか、課題があると感じました。改めて自己研鑽を積み、今後の議員活動に生かしていきたいと思っています。



▲地方議会にヒントを

町の空き家バンクで、ひだまり公園隣の空き家を利用し、子どもから大人まで学べる場所「PIKO TOWN COLLEGE」を共同で立ち上げ活動している、乳井亮久さんと立花理砂さんをご紹介します。

### 対話を軸に

Q 「PIKO TOWN COLLEGE」とは。

A 友達との関係性のなかで心地よい自分のポジションを見つけることができる教育を目指す場です。対話を軸に学びの環境を作っています。

### 個性を生かした教育

Q 具体的にどんな活動をしていますか。

A 対話を軸とした英会話教室や英語版『サピエンス全史』読解、プログラミングをしています。また、ロボティクス講座、日本語教室など個性を生かした教育を行っています。

### 交流を図る

Q 今後の課題は

A 多くの町民の皆様との交流を図りたい。また、仙台で予備校講師をしていたときに培ったノウハウを生かし、教育をはじめ、多くの疑問点を皆さんと一緒に追求し、町の活性化を図りたいです。



乳井亮久さん(左)と立花理砂さん(右)  
(中新町)

### 『議員さんぽ』を

Q 議会に対しての意見・要望はありますか。

A 『議員さんぽ』をしてください！  
議員の皆さんと一緒に川崎町の各地を散歩しながら、町の施策やアイデアを共有していきたいと思っています。

### 基本は教育

Q 今後のまちづくりへの思いは。

A 町づくりの基本は教育だと思っています。世界中の価値観が目まぐるしく変わりゆくなかで、新しい教育の形を町と一緒に模索できるように、役場の中に気軽に話しに行ける場所を作ってほしいです。

※サピエンス全史……人類の歴史を学ぶことができる本。  
プログラミング……ゲームやアプリを作るための技術。  
ロボティクス講座……生活に役立つロボット作り。

かわさき  
明日人のひと言



▲熱い思いを語る乳井さんと立花さん



▲『サピエンス全史』読解の様子

# お知らせ

## 議会の傍聴について

コロナウイルス感染防止対策として、感染拡大の影響が収束し、安全が確認されるまでの間は、インターネット中継及び役場1階町民ホールでの視聴をお願いします。

詳しくは、町議会のホームページをご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

※次回の会議は3月8日(火)~16日(水)  
一般質問は3月9日(水)・10日(木)  
午前10時、再開の予定です。

詳しくは、議会事務局まで

TEL (0224) 84-2301

## 掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありませんので、ご了承ください。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

## 町の風景



青と白の世界

撮影場所: 雁戸山 提供: 山岳遭難救助隊員  
(笹谷峠と蔵王山の間に位置する山)

## 表紙の説明「晴れの舞台で」

川崎小学校 学習発表会にて  
撮影 広報モニター 佐々木 和人さん

## 議会映像配信

議会の様子が  
ご覧いただけます。



発行: 川崎町議会  
編集: 議会広聴・広報委員会

〒989-1592  
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1  
TEL (0224) 84-2301・FAX 84-6789  
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷: 株式会社津田印刷